

## 結果概要

会議名称	第2回 渋川市国民健康保険あかぎ診療所のあり方検討委員会
開催日時	令和3年11月25日(木) 17時30分から19時00分まで
開催場所	渋川市役所 本庁舎3階 大会議室
出席者	○委員：7名 ○事務局：総合政策部長、政策創造課診療所改革室長、改革係員 スポーツ健康部保険年金課長、国保あかぎ診療所所長補佐
配付資料	・資料1 会議録(第1回委員会) ・資料1-2 市HP公開用会議結果概要(当日配布) ・資料2 診療所のあり方について
会議次第	1 開 会 2 挨 拶 3 議 事 (1) 第1回委員会会議内容の確認について (2) 診療所のあり方について (3) その他 4 閉 会
会議結果	(1) 第1回委員会会議内容の確認について (2) 診療所のあり方について (3) その他 以上の議案について、各委員より質疑や意見があった。 (詳細は発言概要のとおり)

発 言 者	発 言 内 容
委員長	<p><b>5 議事</b></p> <p>(1) 第1回委員会会議内容の確認について  それでは、議事(1) 渋川市国民健康保険あかぎ診療所のあり方検討委員会につて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>第1回委員会会議録(資料1)について説明。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
委員長	<p>(2) 診療所のあり方について  続いて、(2) 診療所のあり方について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>国保あかぎ診療所の経営状況や利用実態、市内医療機関の設置状況を踏まえ、今後想定される様々な可能性について説明。</p>
委員長	<p>説明が終わりました。ご意見等がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>今後の可能性として大別すると(1)の医療確保の方策としては現状維持、公設民営の指定管理、譲渡先を医療機関に絞る民間譲渡3つのパターン、(2)は用途変更とありますが、この地区に医療機関を残す必要があるかどうかということを確認したいのですがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>赤城北地区の津久田、敷島、長井小川田、深山のうち、長井小川田、深山には沼田市の医療機関がバスの送迎を行っていますが、利用されている方からするとやはり渋川市内の医療機関にかかりたいとの話を伺いました。</p> <p>また、国保あかぎ診療所は訪問診療をやっており、地元としては、地域医療が無くなるということに対する不安は高いので、できることならば用途変更という選択は避けていただきたいと思います。</p>
委員	<p>地域の医療がなくなるというのは不安ですが、毎年赤字額が改善しない状況を考えると、国保直診継続というのは難しいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>地元の方からも、国保あかぎ診療所の存続を求める声はありますが、この先、国保直診を選択すれば現状と変わらず地域医療は確保で</p>

	<p>きますが、経営的なことを考えるとやはり難しいと思います。指定管理業務委託については、日帰り入浴施設の指定管理とは異なり、医療に関する契約の仕様が複雑で、場合によっては指定管理料が現在の一般会計からの繰入額を上回る可能性もあるので現実的ではないと思います。民間譲渡ができれば施設が有効利用できますが、そういう医療機関があるかどうかは不透明です。</p>
委員	<p>指定管理業務委託の話がありましたが、国保診療所が指定管理になった例はありますか。</p>
事務局	<p>嬭恋村国民健康保険診療所は、平成24年4月から（公社）地域医療振興協会の指定管理施設として運営されています。</p>
委員	<p>用途変更を考える際に、介護関連施設であれば入浴施設を新設しなければならず、現在の建物をどの程度改修しなければいけないのかを考えると、新設の建物の方が使用しやすいと思います。</p> <p>また、ユートピア赤城内で社会福祉協議会が運営するだれでも広場は、連日多くの利用者で賑わい、その付近に類似の施設を置くというのも難しいと思います。</p>
委員	<p>だれでも広場は県内でも人気の高い施設で、施設の南側には健康公園があるので、温泉施設と合わせて一体で健康エリアとして利用されています。</p>
委員	<p>団塊の世代が75歳以上となる2025年が目前に迫るなか、また、新型コロナウイルス感染症対策としても、在宅医療の需要はますます高まることが見込まれます。</p> <p>前橋市富士見町の医療機関では、訪問診療を専門に行っており、そういった医療機関が参入してくればという期待はあります。</p>
委員	<p>国保あかぎ診療所の赤字額が改善しないなかで、それでも今の国保直診の形態が必要なのか、もう一つは地域として医療機関が必要なのか無いのかを確認したいのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>10年後、さらに高齢化が進むと、別の医療機関に繋ぐという役割があるので、地域としては医療機関を残していただきたいという意見はあります。</p>
委員	<p>あるのか無いのかどちらが良いかといえば、あった方がいいとなりますが、小野上地区には医者はなく、子持地区にあった民間診療所</p>

委員	<p>は、今は全て廃止となった状態で今に至っています。</p> <p>赤城地区は人口、世帯が減り続けている状況で、現在のままで利用者数が飛躍的に増えて経営が安定するということは見込めず、市全体で考えれば、現状での存続は難しいと思っています。</p> <p>しかし、本日開催された、赤城地区自治会連合会の懇談会のなかで、他の自治会長からも診療所の継続は難しいという意見と合わせ、3回目のワクチン接種のこともあるので、交通手段の確保については要望が出ていました。</p> <p>いずれにしても、地域の方が納得する形で丁寧に進めていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>12月17日から国保あかぎ診療所の休診について11月15日号の広報しづかわに掲載しましたが、今のところ問合せは来ていません。</p>
委員長	<p>これまでの意見を踏まえ、あり方の方向性としては、地域医療確保に向けて譲渡に向けた深掘りを行うとともに、地域医療の現状だけではなく交通手段の確保についても合わせて検討する要素に加えていきたいと思っています。</p> <p>また、必要な情報があれば事務局にお伝えいただければ次回までに対応させていただくので、お気づきの点、不明な点も合わせてご連絡をいただくようお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>